

社会福祉法人高遠さくら福祉会 令和6年度事業報告

◆福祉会のビジョンである「Life with You ～ともに生きていく～」のもと、令和6年度重点目標を「1. ご利用者様やご家族・地域の方の声を聴き、一人ひとりに適したサービスと家庭的な生活の提供に努めます。」

「2. 施設環境や設備機器のメンテナンス・更新を計画的に進め、介護機器等のテクノロジーの活用を取り入れ、業務改善等によるサービス向上に努めます。」

「3. 人財の確保と育成・定着に努めるとともに、給与等処遇の改善及び福利厚生の実に努めます。」

「4. 稼働率の維持向上と積極的な加算取得に取り組み、収入の確保と適正な支出による経理管理を進め、財務体制の強化・健全化を図ります。」

と掲げ、職員一人ひとりがスキルアップに努め、お互いを尊重し、寄り添い、安心安全な暮らしができるよう力を合わせ「最高の場所」となるよう励んできました。

そのためにも、コンプライアンス（法令順守）や情報公開・社会福祉法人としてのガバナンス（組織管理体制）強化に取り組みました。

◆各施設では、年度前半コロナウイルス感染症が発生しました。厳しい職員体制のなかでしたが僅かな期間で終息し、面会には若干の制約を設けさせていただきましたが、少しでも穏やかに充実した生活を送っていただけるよう取り組んできました。

こうした中、各施設の運営は人員不足と物価高騰のあおりを受け、大変厳しい状況でしたが、常に経費節約・利用率向上を意識し、事業計画に沿いながら進めた結果、延べ49,830名の利用をいただき、介護保険事業による収入は656,373,855円でした。サービス活動収益は、657,012,255円、サービス活動費用は684,558,279円と、事業活動による経常増減差額は28,041,714円の赤字、最終的な当期増減差額は16,767,431円となりました。

◆改善においては、嘱託医師との契約内容を見直し、介護報酬改定に伴う処遇改善手当を改め本給に加えて毎月支給を行ってきました。また、最低賃金改定に即し正規及び嘱託職員・パート職員の最低賃金を下回る者を対象とした給与格付・賃金改定も行いました。設備整備等では、入浴補助機器（ピュアット）の導入、経年による不具合箇所（浄化槽等）の改修、洗濯機や入浴業務連絡手段のインカム導入、排泄支援機器 Dfree（介護テクノロジー活用補助金）、精神科医師指導サービス（メモリーケア）等を進めてきました。

◆職員募集は年間を通して行い、新卒採用者1名、中途採用者6名を採用し、職員の充足と負担軽減を図ってきましたが、退職者もあり人材不足の改善は厳しい状況でありました。

10月には、人材不足の改善としてグループホーム桜の休止を決定いただき、利用者の適切な移動入所と伊那市への休止届を提出し、令和7年1月31日をもって休止としました。

今年度は、外国人技能実習生の受入れ準備を進めてきました。

◆この先の不安定な世界情勢により、物価高騰の長期化が続き厳しい環境となることが予想されますが、給与・賃金の改善や働きやすい職場環境を整え、職員一人ひとりが今の仕事に携わることによって幸せを感じ、ご利用者様の快適な暮らしに向き合っていけるよう進めていくとともに、地域に求められる法人として邁進していきたいと考えます。

【主要事項】

- 最低賃金改定に即し最低賃金を下回る者を対象に、正規職員の給与格付変更、嘱託職員及びパート職員の給与賃金改定を10月1日より施行しました。
- 嘱託医師との契約内容を、統一的に検討し新たな契約を行いました。
- 外国人技能実習生受入れについて、公益財団法人国際人材育成機構（アイジヤパン）と調整し、令和7年7月から実行できるよう準備を進めてきました。
- 入浴補助機器、インカム導入、排泄支援機器 Dfree 等を整備し、働く環境とご利用者様の安心安全な生活づくりを進めてきました。

1. ご利用者様やご家族・地域の方の声を聴き、一人ひとりに適したサービスと家庭的な生活の提供に努めます。

「支援」…

- ・ご利用者様の意思の尊重・尊厳を重視し、日々の生活にリハビリテーションを組み入れての健康管理に努め、嗜好や満足できる食事を提供し、その方に適した生活支援を行ってきました。

「研鑽」…

- ・キャリアパス制度に沿った研修の実施、年間研修計画等により専門性を常に高めチームケアが発揮できる取り組みを行ってきました。

「開かれた施設」…

- ・福祉サービスに対する苦情・意見を聞き、かつ第三者委員の意見を伺い適切に解決することにより、ご利用者様の権利を擁護し、サービスへの満足度を高めるため生活の質の向上に努めてきました。
- ・入所待機をしている方が、入所したいと思えるよう情報発信に努め、公平公正な入所判定に努め入所へと繋げてきました。

【第三者委員会】

開催日	内 容
令和6年6月26日	令和5年度活動報告、施設報告、令和6年度活動内容協議
令和6年8月26日	利用者面談

【入所判定委員会】

開催日	申込者数
令和6年5月29日	65
令和6年9月25日	62
令和7年1月29日	57

- ・広報紙の発行でご利用者様の暮らしを伝えるとともに、ホームページなどにより施設の紹介や情報発信を進めてきました。

2. 施設環境や設備機器のメンテナンス・更新を計画的に進め、介護機器等のテクノロジーの活用を取り入れ、業務改善等によるサービス向上に努めます。

「施設環境整備とサービス向上・安心安全への担保」…

- ・より良い介護を常に正常な状態で行うために、計画的な整備を進め快適で安心安全な生活環境づくりに努めてきました。
- ・頻繁に発生する各地の災害被災に触れ、日頃の災害への危機意識と知識の向上に努め安全対策委員会を中心に訓練や点検を行いました。

3. 人財の確保と育成・定着に努めるとともに、給与等処遇の改善及び福利厚生の実施に努めます。

『職員体制・人事給与制度の構築』…

- ・連携のとれた組織、風通しの良い職場づくりを進め、職員一人ひとりがやりがいを感じ最大の成果を上げることを目指して取り組んできましたが、退職者等もあり厳しい職員体制が改善されず年度を終えることとなりました。

【職員数】 *正規職員・非常勤職員合算

職 種	令和 6 年度			
	令和 7 年 3 月 31 日	中途採用(+)	中途退職 (-)	令和 6 年 4 月 1 日
特養さくらの里	施設長	1 (兼 1)		1 (兼 1)
	医師 (嘱託)	3		3
	生活相談員	2		2
	介護支援専門員	(兼 3)		(兼 3)
	管理栄養士	1		1
	介護職員	44 (兼 3) (6)		42 (兼 3) (1)
	看護職員	6 (1)	1	5 (2)
	機能訓練指導員	1 (兼 1)		1
	事務職員	3	1	1
	業務職員	8 (兼 1)		8 (兼 2)
GH	管理者	休止中		1 (兼 1)
	介護職員		2	7 (兼 1)
地密特養みのりの杜	施設長	1 (兼 1)		1 (兼 1)
	医師 (嘱託)	1		1
	生活相談員	1		1
	介護支援専門員	(兼 1)		(兼 1)
	管理栄養士	1		1
	介護職員	18 (兼 1)	2	2
	看護職員	5	2	1
	機能訓練指導員	1 (兼 1)		1 (兼 1)
	事務職員	1		1
業務職員	5 (兼 1)		5 (兼 1)	
合 計 <実人数> (産育休、療休)	103 <100> (7)	6	12	110 <106> (3)

(兼)は兼務職員数。()は産休中、育休中、療休中の者を示す。

中途退職に令和 7 年 3 月 31 日付退職者含む。

- ・最低賃金改定、介護報酬改定に即した給与等の改善を図ってきました。併せて、職員の健康診断・カウンセラーや産業医への相談を随時取り組んできました。
- ・人材育成研修の場として、各機関と連携し実習生の受入れを行いました。また、毎月職場説明会を実施し、採用情報の発信を積極的に行い、介護職員のみならず各職種・専門職の募集に努めましたが、採用に繋がらず厳しい状況でした。

4. 稼働率の維持向上と積極的な加算取得に取り組み、収入の確保と適正な支出による経理管理を進め、財務体制の強化・健全化を図ります。

『適正な経理管理、健全な財務体制と透明性ある法人運営』…

- ・持続的な安定経営のために、月次分析を行いながら適正な経理・予算執行により健全な財務体制の強化に励んできました。決算報告で詳細を説明します。
- ・定款等に基づき、透明性ある法人運営に努めてきました。

役員会等の開催状況

【理事会】

開催日	理事	監事	議 事
令和6年6月5日	5	2	第1号 令和5年度事業報告、決算について 第2号 定時評議員会の招集について 第3号 定款の一部変更について 第4号 規程の一部改定について 第5号 運営規程の一部改定について 第6号 社会福祉充実計画について
令和6年8月21日	4	2	第1号 規程の一部改定について
令和6年10月9日	6	2	第1号 規程の一部改定について 第2号 グループホーム桜の運営について 第3号 評議員会の招集について
令和6年11月27日	6	2	第1号 令和6年度事業報告（中間）、決算報告（中間）について 第2号 定時評議員会の招集について
令和7年3月5日	6	2	第1号 令和7年度事業計画、予算について 第2号 定時評議員会の招集について 第3号 規程の一部改定について

【監事監査会】

開催日	監事	実施内容
令和6年5月27日	2	令和5年度 理事の業務執行状況、施設事業の運営状況、会計処理、計算関係書類・分類等の監査

【理事懇談会】

開催日	理事	監事	協議事項
令和6年8月21日	6	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループホーム桜の今後のあり方・活用及びさくらの里改修について 2. 時期評議員、理事、監事及び評議員選任・解任委員の選任計画について 3. 現在の評議員選任・解任委員会委員の変更について 4. その他
令和7年1月22日	6	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事会運営規程（案）の検討について 2. 次期評議員、理事、監事及び評議員選任・解任委員の任期に伴う候補者検討について 3. グループホーム桜の休止手続き等について 4. 外国人技能実習生受入れの現況報告及び宿舍等について 5. その他

【評議員会】

開催日	評議員	監事	議 事
令和6年6月21日	8	2	<ol style="list-style-type: none"> 第1号 令和5年度事業報告、決算について 第2号 定款の一部変更について 第3号 規程の一部改定について 第4号 運営規程の一部改定について 第5号 社会福祉充実計画について
令和6年10月25日	7	1	第1号 グループホーム桜の運営について
令和6年12月13日	7	2	第1号 令和6年度事業報告（中間）、決算報告（中間）について
令和7年3月21日	7	2	<ol style="list-style-type: none"> 第1号 令和7年度事業計画、予算について 第2号 規程の一部改定について

5. 受託事業「認知症予防教室（ひまわり会／高遠・伊那）」の運営

伊那市からの受託事業として、介護予防・日常生活支援総合事業における通所サービスA－2型事業の運営を行いました。

【運営状況】

会 場	高遠会場	伊那会場
実施場所	さくらの里	みのりの杜
実施回数	4 5回	4 4回
参加人数	延べ2 5 3名、実人数 9名 (平均5.6名)	延べ3 9 7名、実人数 1 7名 (平均9.0名)
スタッフ	さくらの里作業療法士1名 支援員1名 伊那市役所保健師1名	さくらの里作業療法士1名 看護師1名、支援員1名
内 容	体操、脳トレ、ゲーム、カレンダーづくり、調理、運動会 夏祭り、だるま市作品づくり、外出、伊那市専門職による講義 等	
結果及び評価	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度にくらべ、参加延べ人数、実人数ともに減少しました。 ・コロナ禍以来実施していなかった調理活動を伊那会場で再開しました。 ・アンケートを実施し、「満足している」、「継続して参加したい」という意見を多くいただきました。 ・新規の参加者もあったが、要介護認定・介護サービス利用へと移行する方がいました。 ・市保健師、福祉相談課と連携協力しながら運営できました。 	

特別養護老人ホームさくらの里 事業報告

(1) 利用者数

●延べ人数・平均利用率・平均介護度

サービス種類	項目	令和6年度	令和5年度
長期入所	延べ人数	32,405名	31,574名
	平均利用率	97.6%	94.8%
	平均介護度	4.09	4.14
短期入所	延べ人数	1,801名	2,437名
	平均利用率	44.9%	60.5%
	平均介護度	2.59	2.91

●長期入所の退所者数

男性	女性	計(昨年比)
3名	13名	16名(-16名)

【重点目標に対する取り組み状況】

1. 自立支援の取り組みをすすめ、認知症対応、栄養口腔ケア、看取りケア等より専門性の高いサービスが提供できるよう努めます。

- ・外部研修への参加
(実習指導担当者講習会、認知症介護実践者研修、OJTリーダー研修等段階別研修等)
- ・内部研修の実施
(法令遵守、認知症ケア、救命救急応急処置、リスクマネジメント、衛生管理、摂食嚥下、感染症対応、虐待防止、ターミナルケア等)
- ・看取り介護計画に基づいての看取りケアの実践
- ・排せつ支援加算取得開始
- ・介護テクノロジー排せつ関連機器(DFree)導入
- ・精神科医療養指導サービス(精神科医によるオンライン上での認知症ケアに関わる職員への指導助言)導入

2. より良いサービス提供のためには、職員一人一人が力を発揮し、皆で協力し合うことが必要不可欠です。職員が働き甲斐や成長を感じられるよう育成や指導、研修を積極的に行い、委員会活動や各職種会議を活性化させ、生産性向上の取り組みにつなげます。

- ・今期より生産性向上委員会、研修委員会を施設わたくし組織し活動
- ・生産性向上取り組みセミナー全国発表、委員会共同で取り組み
- ・委員会活動に生産性向上の視点を取り入れ、整理整頓や手順書の作成
- ・介護機器やインカム導入における業務手順、ルールの見直し

3. 快適で安心安全な環境となるよう施設の改修を計画し、必要な修繕の実施や設備のメンテナンスを行います。介護ロボットなどテクノロジーの導入も積極的に行います。

- ・浄化槽、大型洗濯機、入れ替え
- ・入浴機器（ピュアット）導入
- ・排せつ関連機器（DFree）導入 県補助金対象
- ・厨房エアコン入替工事
- ・インカム機器導入

4. 地域の保育園、学校との交流、ボランティア等の受け入れを行い、防災訓練などを通じて災害時における地域との連携をさらに強化します。

- ・保育園との交流（レク、コサージュ贈呈）、中学校（応援隊、行事交流、車いす寄付）ボランティア受け入れ（企業、グループ、個人）
- ・防災訓練（年2回）、BCP訓練の実施

（2）部門別報告

項目	取り組み内容
（介護） ①ご利用者様への思いに寄り添い安心できる生活の場を提供する。 ②職員の育成・指導・研修を通じ、質の高いサービスを目指す。親切的なケアと心のこもった対応をする	勤務シフトの工夫や業務の見直しを行い、協力しながら滞りなくサービス提供ができるよう努めた。内外の研修に積極的に参加し、技術の向上に努めた。介護テクノロジー、機器等の導入をすすめ、業務負担の軽減に取り組んだ。
（相談） ①丁寧な対応を心掛け、信頼される相談援助を目指す。 ②利用者、家族、地域等からの声を聴き、サービス向上につなげる。	さくら福祉会独自枠での入所申し込み受付において、丁寧な相談業務を行い、申込者の確保に努めた。 短期入所は職員状況を考慮しながら入所率をコントロールした。
（機能訓練） ①ご利用者様の心身の機能の維持、自立支援に努める。 ②その方らしい暮らしとなるよう、喜び、楽しみにつながるサービスを提供する。	長期入所、短期入所を作業療法士2名で担当した。個々の心身の状況に応じ評価を行い、機能訓練計画に基づいて個別や集団での訓練を実施した。クラブ活動の充実を図った。
（看護） ①ご利用者様にとってよりよい暮らしとなるよう専門性を生かし、多職種と協働する。 ②体調の変化を気にかき、症状に応じ適切な対応をする。	ご利用者様の健康管理及び終末期のケアに取り組んだ。日常的に健康状態に気を配り、多職種との連携の上、担当医師や家族との連絡対応を行なった。

<p>(栄養)</p> <p>①安全で美味しい食事を提供し、栄養面から日々の健康的な生活をサポートする。</p> <p>②食事を通じて、季節感や行事を感じられるような楽しみを提供する。</p>	<p>咀嚼嚥下状態に応じた食事内容の検討を他職種と実施し、栄養状態の悪化防止に努めた。また、食事を通して季節を感じ、生活の中での楽しみとなるような企画を行うことができた。</p>
--	---

(3) 苦情や意見、家族アンケート等

苦情や意見を真摯に受け止め、業務改善、サービス向上へ繋げています。

①苦情件数： 0件 意見件数： 5件

申出者	本人（1件）、家族（3件）、居宅ケアマネジャー（1件）
内容と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ケア方法（4件） ⇒ ケアの確認徹底、業務内での統一事項確認 ・書類発送（1件） ⇒ チェックや確認の徹底

②第三者委員 施設見学・利用者面談より

<ul style="list-style-type: none"> ・習字や手芸を根気よく行っている取り組みがあり良い ・トイレや洗面台が全居室に設置されており使いやすい、居室や廊下が広い ・利用者からの聞き取りで「食事がおいしい」、「心配なことはない」「うちのことも心配しなくていい」と話があった ・トイレのにおいが気になった ⇒ 委員会で検討、ドアの開閉の徹底、消臭対策
--

③長期入所者ご家族アンケート結果

2月実施 回答数 74名/90名 回収率 82.2%

主な回答、意見内容と対応

【ケア方法】

- ・衣類に食べこぼしや皮脂がついている
⇒ 食べこぼしの多い方はエプロンを着用し、汚れた場合はこまめに着替えの介助をするよう周知した。

【職員の対応、接遇】

- ・優しい表情や言葉がけで接してほしい。
⇒ 接遇の研修会や個別の指導等を実施。

【施設からの連絡・説明】

- ・健康状態の変化やケアプラン説明が不十分（分かりにくく感じる）。
⇒ 健康状態の悪化や事故は速やかに電話連絡し、ケアプランの説明は口頭だけでなく、文章でもわかりやすく伝えるよう担当で共有確認。

【面会方法（感染対応）】

- ・面会時間がもう少し長くなれば良い。
⇒ 施設内外の感染流行状況に応じて制限や緩和を判断しますが、感染予防策を講じながらもできるだけ面会していただけるよう配慮する。今年度は外出も可能とした。

【広報関係】

- ・ホームページや広報誌が見にくい。
⇒ ホームページのリニューアル、広報誌面の改善や掲載内容の検討

※その他多くの方から職員への感謝の言葉をいただきました。

(4) 家族会

長期入所者のご家族等で家族会を組織しています。季節行事の補助（飲食物等）、医療機器などへの費用補助をいただきました。

(5) ボランティア

【団体】

団体名	活動内容	実施日等
河南地区民生児童委員	窓ふき	9月10日
長藤グループ	フラメンコ	9月18日
(株)都築木材	窓ふき、ベランダ掃除等	10月5日
高遠高校音楽コース	合唱・歌体操	10月23日
郵便局長の会	窓ふき、草取りなど	11月2日
こまち一ず	音楽レク	11月18日
高遠中学校生徒会	喫茶補助 クリスマスリース作り	10月2日 12月13日
長谷音楽クラブ	合唱・演奏	1月26日

【個人】

社協のボランティアポイントも活用し施設内外の環境整備等をしていただきました。

氏名	活動内容	実施月
伊藤様	畑作業など	通年
赤羽様	洗車	1回
北原様	書道	月2回

(6) 季節ごとの行事や日常の様子

- 季節のイベントや外出や地域との交流を行いました。

行 事	様 子
辞令交付式 勝間お神輿 防災訓練	
夏まつり 中学文化祭	
さくらの里まつり 合同慰霊祭 イベント	
高校交流 節分 保育園コサージュ	

グループホーム桜 事業報告

(1) 利用者数

●延べ人数・平均利用率・平均介護度

サービス種類	項目	令和6年度	令和5年度
入所	延べ人数	2,140名	3,146名
	平均利用率	65.0%	95.5%
	平均介護度	2.20	2.18

【重点目標に対する取り組み状況】

1. 一人一人のご利用者様のことを考え、その人らしさを大切にしていきます。

- ・認知症ケアへの取り組み（認知症実践者研修・認知症実践者リーダー研修）
- ・個別ケアへの取り組み（畑での野菜作り 家事作業 毎月の制作活動 事例検討会）
- ・地域との関わり（保育園交流会 勝間子供神輿 ボランティアの演奏 応援旗作成）

2. ご家族様と信頼関係が築けるように、誠実で遅滞ない対応を心がけます。

- ・広報誌の発行
- ・外出企画への家族参加

3. 感染症対策や非常災害への備えを強化し、ご利用者様やご家族様が安心できる環境を整えていきます。

- ・感染症対応の実践
- ・高遠地区防災研修への参加
- ・防災訓練の実施
- ・運営推進会議実施

4. 法人内で計画する研修会への参加や医療面での相談など、体制を整え連携していきます。

- ・内部研修の実施（法令遵守、認知症ケア、救命救急応急処置、リスクマネジメント
衛生管理、摂食嚥下、感染症対応、虐待防止、ターミナルケア等）
- ・外部研修の実施（新任職員過程）
- ・急な体調不良時や感染症等発生時の際などさくらの里看護師への相談

(2) 【部門別目標】

項目	取り組み内容
(介護) 利用者様一人ひとりの原因疾患や周辺症状を理解し、根拠のある認知症ケアの実践を行います。	職員間で話し合いを持ち、情報の収集や共有をし、周辺症状の裏に隠された課題を把握するとともに、ご利用者様・ご家族の思いを聴きながらサービス計画の作成を行いました。 ケア担当者を中心に、サービス計画に沿った支援を実施しました。 ご利用者様一人ひとりに対して日々の振り返りを行い、サービス計画に沿った支援ができたのかをチェックし、ご利用者様のニーズに合っているのかを評価してきました。 目標に合わせて一人一人のご利用者様の生活が向上していくような関わりを考え、実践できるようにしました。

(3) 苦情や意見等

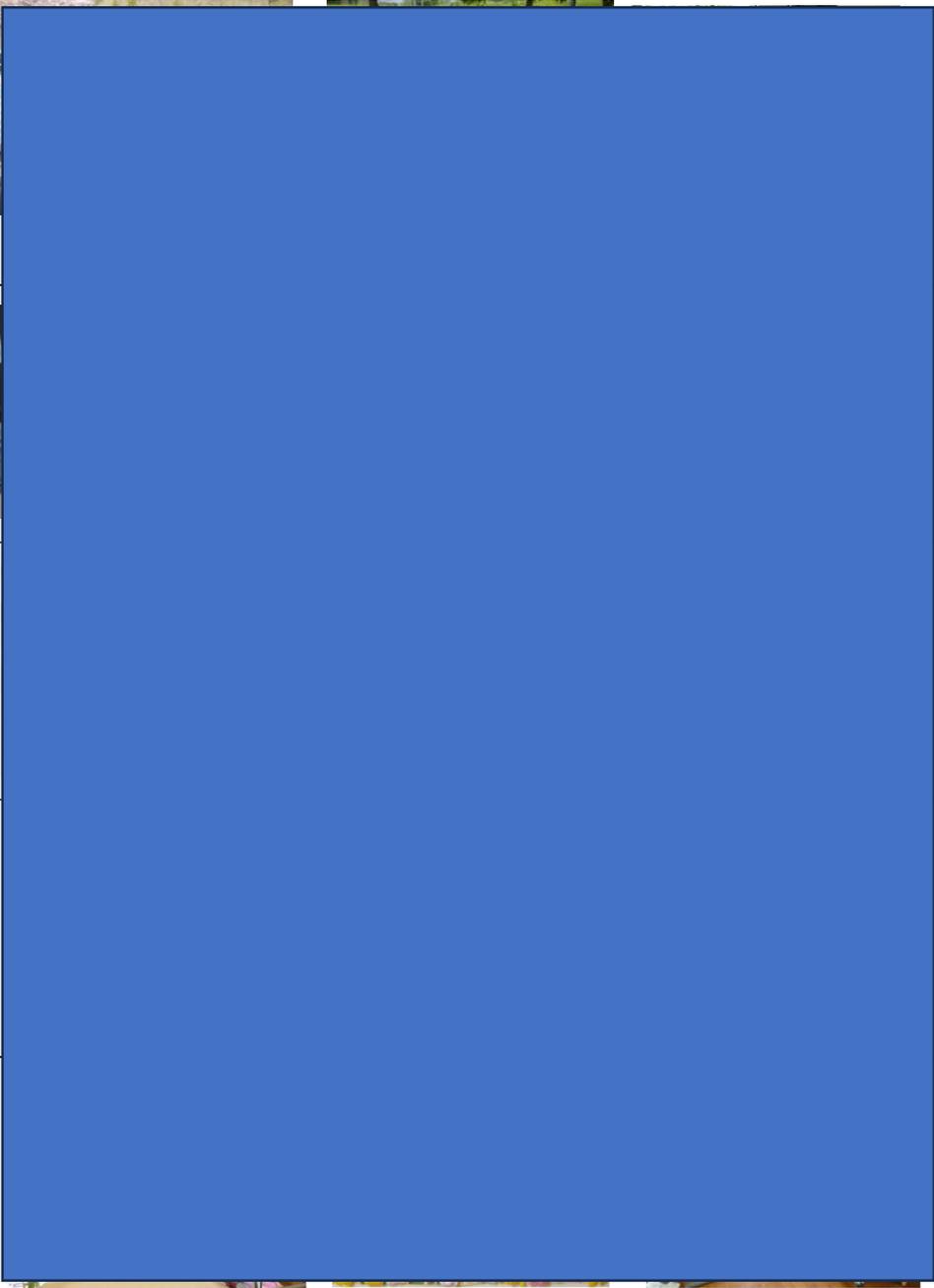
①苦情件数： 0件 意見件数： 3件

申出者	本人 (1件)、家族 (2件)
内容と対応	・ケア方法 (1件) ⇒ 設備の取り扱い方法の変更 ・本人、家族への連絡や説明の不足 (2件) ⇒ 気持ちをよく聞き対応する。連絡のタイミングや内容を改善する。

②第三者委員 施設見学・利用者面談より

- ・利用されている皆さんは、比較的元気な印象を受けた。
- ・一人一人の訴えや事情がある中、対応される職員さんは大変だと感じた。

(4) 季節ごとの行事や日常の様子

行 事	様 子
勝間白山社例祭 交流会 畑作業	
第三者委員面談 防災訓練 制作活動	
運動会 夏祭り 敬老会	
収穫 家事作業	
日常の様子	

(5) グループホーム桜 休止までの経緯

①利用者の移動状況

・ご家族との相談では、全員が特別養護老人ホームへの入所を希望されたため、順次空き状況に応じてご案内をすすめました。

・10月：さくらの里1名、みのりの杜2名

・11月：さくらの里2名

・12月：さくらの里2名

・1月：さくらの里1名、みのりの杜1名

②家族への説明

・10月25日さくらの里会議室において、グループホーム桜休止の方向性について、ご家族への説明を行ないご理解をいただきました。

出席者：ご家族7名 西村常務理事 古村施設長 林管理者

③地域への説明

・11月28日運営推進会議にて、グループホーム桜の今後について説明を行いました。

参加者：勝間区長 勝間民生児童委員 伊那市高齢者福祉課課長 常務理事 管理者

④保険者（伊那市）

・10～11月：伊那市社会福祉課担当者との相談連絡を実施

・1月31日：休止届提出

地域密着型特別養護老人ホームみのりの杜 事業報告

(1) 利用者数

●延べ人数・平均利用率・平均介護度

サービス種類	項目	令和6年度	令和5年度
長期入所	延べ人数	10,002名	10,337名
	平均利用率	94.5%	97.4%
	平均介護度	3.95	4.19
短期入所	延べ人数	3,482名	3,382名
	平均利用率	86.7%	84.0%
	平均介護度	2.24	2.47

●長期入所の退所者数

男性	女性	計(昨年対比)
4名	9名	13名(+8名)

【重点目標に対する取り組み状況】

1. ご利用者様のこれまでの人生、生活を尊重し、その人らしい生活が最期まで送れることそして自立支援に向け寝たきりや廃用を予防し、能力の維持や向上を目指した質の高い介護サービスが提供できるよう、職員研修、育成指導、ユニット会・委員会活動等を通じて取り組みます。

- ・外部研修への参加（新任職員課程、中堅職員課程等）
- ・内部研修の実施
（法令遵守、認知症ケア、救命救急応急処置、リスクマネジメント、衛生管理、摂食嚥下、感染症対応、虐待防止、看取り介護、ユニットケア等）
- ・新人職員育成指導（高卒1名 OJT指導）
- ・外部施設との連携 みぶの里言語聴覚士訪問指導
- ・精神科医師療養指導サービス開始（精神科医によるオンライン上での認知症ケアに関わる職員への指導助言）
- ・短期入所生活介護県指導監査実施

2. 地域との交流や連携を再開、再構築し幅広い福祉のニーズに対応します。地域施設との交流、ボランティアの受け入れ、運営推進会議や災害対策を通じ協力し合える関係を作ります。

- ・ボランティア受入（個人、グループ、企業等）
- ・運営推進会議実施
- ・原新田区との協力・交流（防災訓練、秋まつり、文化祭展示、公民館行事）
- ・(株) アルプラスよりシャトレーゼお菓子まつりへの協力

3. 設備や備品の適切な保守管理、入れ替え等を計画的に行い、安全で快適な施設環境を整えます。また新しい介護機器やロボットなどを積極的に検討導入します。

- ・設備機器（洗面台等）修理修繕
- ・介護テクノロジー排せつ支援機器導入検討
- ・車いす用体重計購入
- ・空調設備機器クリーニング

(2) 部門別報告

部門	目標	取組み内容
介護	ご利用者様、ご家族様、職員とが信頼関係を築き、「暮らしの継続」「残存機能の活用」「自己決定の尊重」を実践します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様一人ひとりの生活リズムを 24 時間シートを用いて把握し、個別の関わりを行った。 ・ユニット会や委員会活動等を通じて質の高いサービスの提供に努めた。
看護	他職種との連携を図り、医学的知識と技術を向上し、日々の健康管理から看取り期までご利用者様が安心して過ごせるようにサポートします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様一人ひとりの健康状態をこまめに観察し、医師や医療機関、ご家族等と連絡を取りながら看護職員間での情報共有、他職種とのケアの連携を行なった。 ・感染症予防や褥瘡予防など医学的管理の知識をもとに、健康管理を行なった。
生活相談	ご利用者様、ご家族様、地域の意見を広く聞き、サービス向上につなげます。 長期短期入所の稼働率向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、ケアマネ等と丁寧な対応と迅速な情報提供を行ない、新規ご利用者様の受け入れに努めた。 ・ご家族との連絡調整や他職種との連携を行ない、空床期間の短縮、新規利用者の積極的な受け入れを行った。
栄養	ご利用者様に安全でおいしく楽しい食事を提供します。 多職種で連携を取り、口腔機能の維持・向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養ケア計画に基づいた個別の対応を行った。 ・施設多職種と給食業者との連絡を密にし、利用者の希望や体調に合わせた食事の提供を行った。 ・歯科医師から口腔衛生に関する指導を受け、その内容を職員で共有し、ケアに活かした。
リハ	ご利用者様の自立支援、心身の機能維持を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の作業療法士兼務で個別や集団での機能訓練やレクリエーションの機会を作り、楽しみながら機能維持が図れるよう努めた。 ・生活機能向上連携加算事業でみぶの里言語聴覚士が月 1 回訪問し、嚥下や発語等のリハビリを実施した。

事務	<p>正確な請求業務を行います。 分かりやすく興味を持っていた だけのような広報誌やホームペ ージを作成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 返戻や過誤のないよう十分確認し、関係機関と 連絡を取り、制度の理解を深めた。 ・ 広報誌を毎月 1 回長期とショートステイ向けに それぞれ作成した。
----	--	---

(3) 苦情や意見、家族アンケート等

苦情や意見を真摯に受け止め、業務改善、サービス向上へ繋げています。

①苦情件数： 0 件 意見件数： 8 件

申出者	本人 (3 名)、家族 (3 名)、居宅ケアマネジャー (2 名)
内容と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の対応 (3 件) ⇒ 職員への面談指導、接遇研修等 ・ 備品の不具合 (2 件) ⇒ 備品の入れ替え、修理 ・ 書類 (1 件) ⇒ 書類の変更 (押印見直し) ・ ケア方法 (1 件) ⇒ 心身機能の状況説明 ・ 食品の持ち込み (1 件) ⇒ ルールの説明と確認

②第三者委員 施設見学・利用者面談より

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物や職員の服装など雰囲気が家庭的 ・ 「友達や話し相手ができるうれしい」とお話しされていた。 ・ 「夫婦同室ができるうれしい」とお話しされていた。
--

③長期入所者ご家族アンケート

2 月実施 回答数 27 名/29 名 回収率 93.1%

<p>主な回答、意見内容と対応</p> <p>【施設内環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時々床にほこりがある。排泄のにおいがする時がある。 ⇒ 居室掃除を定期的に行う。排泄介助後は換気をする。 <p>【職員の対応、接遇】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧で感じがよい。 <p>【施設からの連絡・説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 衣類や持ち物の不足、内服薬の状況について教えてほしい。 ⇒ 面会やケアプラン説明時などにご家族に状況をお伝えする。 <p>【面会方法 (感染対応)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人数や場所の制限が緩和されることを希望します。 ⇒ 感染流行状況に応じて制限の判断をしますが、人数や場所、時間を緩和していきます。 自宅等への外出も可能としたり、行事への参加も呼び掛けた。 <p>【広報関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページが見にくい。 ⇒ ホームページのリニューアルの実施
--

※その他多くの方から職員への感謝の言葉をいただきました。

④短期入所利用者ご家族アンケート

2月実施 回答数 16名／リピーター24名 回収率 67%

- ・希望通りに予約ができない
⇒土日祝に希望が重なってしまう傾向にあります。日程については早めに希望をケアマネにお伝えください。
- ・送迎時間が一定していない
⇒送迎人数や車の手配、道順などで時間が前後してしまうことをご理解いただき、30分以上時間がずれる場合は電話を入れます。
- ・食事の味が薄い、ご飯が柔らかい、献立表が欲しい。
⇒高齢者施設なので、1日の塩分6gとしていること、やわらかめ飯にしています。利用者のみなさまの声によってはご飯の固さは調整していきます。
献立表の希望がある方は1週間分のメニュー表をお渡しいたします。
- ・入浴の回数を知りたい
⇒1週間に2回の入浴を基本に、利用日数に応じて、週に1～2回実施しています。(1日おきや毎日の入浴は困難になります)
- ・日中、レク活動について
⇒午前と午後に分けて、集団での歌や体操、脳トレ、手作業など実施しています。
- ・連絡帳の記載をもっと詳しく教えてほしい。分かりづらい。
⇒連絡帳の様式を変更しました。わかりやすく、見やすくしました。また、何かご希望があれば直接連絡帳へ記載していただければご返答いたします。

(4) 運営推進会議

みのりの杜では、2か月に1度運営推進会議を開き、地域との連携や交流を行なっています。

構成者	内容	実施回数
原新田区：区長、区長代理、 民生児童委員 伊那市：社会福祉課担当者 伊那市社会福祉協議会 家族会長、家族会監事 みのりの杜：施設長、生活相談員等	・各月の運営報告 ・区の状況報告、行事のお知らせ等 ・伊那市、社協からの現状報告、お知らせ ・その他	対面5回 書面1回

(5) 主な行事

●季節や個別対応を意識した行事・地域との交流を行いました。

行 事	様 子
開所記念 外出 防災訓練	
夏まつり ボランティア 応急処置研 修	
敬老会 収穫祭 合同慰霊祭	
しめ飾り作り まゆ玉づくり 春高応援旗制 作	

(6) 家族会

長期ご利用者様のご家族が会員となり、会員交流や行事支援を行って頂いております。

日時	内容
第 1 回家族会 6 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度事業報告、決算について ・令和 6 年度事業計画、予算について ・アンケート報告など
環境整備作業 9 月 28 日 第 2 回家族会	<ul style="list-style-type: none"> ・家族 15 名参加 内容：窓ふき、ベランダ掃除、植栽剪定 ・令和 6 年度中間事業報告、予算執行状況について 
<ul style="list-style-type: none"> ・血圧計購入や各種行事の際の費用補助をしていただきました。 	

(7) ボランティア

感染症対応でできなかったボランティアの受け入れや交流を再開しました。

グループ・個人名	活動内容	実施日
中村喜楽座	体操、手品、楽器演奏	4月22日
傾聴ボランティア	利用者とのお話	5月7日～定期（月2回）
二胡楽胡	二胡演奏	8月10日、2月18日
なでしこ会	日本舞踊	7月10日
たかずやの里	太鼓	9月16日
原新田こども会	子ども神輿	10月13日
い～なオカリナ	オカリナ演奏	11月22日
ユカイナ	楽器演奏	12月18日
砂場さん	傾聴、レク補助	1月、3月（2回）

(8) その他

- ・毎週木曜日、地域の体操運動教室「元気もり杜」の会の皆さんが地域交流ホールを利用されています。（令和6年度 44回利用 利用者10～23名）